

藤岡市立美九里西小学校だより 第6号

まなびや

さくらの学舎

～学びいっぱい・笑顔いっぱい・やる気いっぱい～

発行日：令和8年8月31日（月）

発行者：校 長



☆美九里西小学校ホームページ「学校日記」では、子供たちの頑張る姿を紹介していますので、ぜひご覧ください。美九里西小ホームページQRコード→



**2学期も「学びいっぱい・笑顔いっぱい・やる気いっぱい」
「挑戦」を通して、キラキラ☆ピカピカ輝き、成長しますように・・・**



本日、子供たちの笑顔と元気な声で2学期を気持ちよくスタートさせることができました。「2学期もがんばるぞ!」「みんなで一緒に仲良く過ごそうね!」やる気に満ちた子供たちの気持ちが伝わり、職員一同とても嬉しく思いました。そんな素晴らしい2学期のスタートを迎えることができたのも、保護者の皆様、地域の皆様に温かく子供たちを見守っていただいているおかげです。2学期も様々な学習、体験を通して大きく優しく成長する子供たちのことを全職員一丸となって応援していきます。保護者、地域の皆様の変わらぬご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本日の始業式では、まずはじめにこの夏休み中に日本国内、さらには他国で起こった地震や大雨による自然災害について子供たちと一緒に考えました。今年の夏はほぼ毎日、テレビのニュース等を通してこの現実を知り胸を痛めているところですが、どれだけ多くの人たちが大変な思いをしているのか、日本国内だけでなく他国の被災地にも心を寄せ、遠い場所の出来事ではなく、もしも自分の地域で同じことが起きたらどうしたらいいか？自分事として想像し、考えることの大切さについて考えました。そして大切な命（自分も家族も地域の人もみんなの）を守るために日頃からどうしたらいいのか？しっかり考えたことを実践することについても考えました。とても大切なことですので、保護者や地域の皆様にも、子供たちと一緒に話題にさせていただきたいと思います。

続いて、2学期も一人一人の子供たちが「学びいっぱい・笑顔いっぱい・やる気いっぱい」輝くために「挑戦」してほしいと伝えました。挑戦するということは、やってみようと一歩踏み出して、難しいことに向かって諦めずに頑張ることであり、その行動に価値があるということも伝えました。2学期になってまた新しい目標をもっている子供たちの「挑戦」を学校、家庭、地域が一緒に応援し、子供たちの成長につなげていけたらと考えています。よろしくお願いいたします。



サマイベントとつても楽しかったね。稲穂の会の皆様、いつもありがとうございます。

夏休みの面談では、お世話になりました。

夏休み中の二者面談では、大変お世話になりました。お子さんの1学期の頑張りにについてお話できたこと、また、お子さんのさらなる成長を願う保護者の方と担任の思いが繋がりと、とても有意義な時間となりました。今後も何か心配なことや相談等がありましたら、遠慮なく学校にお声がけください。どうぞよろしくお願いいたします。

保護者、地域の皆様へ。

子供たちが心身ともに健康で、安心して毎日を楽しく笑顔いっぱいに過ごせることが何よりも大切な私達大人の願いです。学校では、夏休み明けもこれまでと変わらず子供たちの様子をよく見て声をかけていきます。この度、文部科学大臣のメッセージが配付されましたので、裏面に掲載します。ご一読ください。

保護者や学校関係者等のみなさまへ

今、子供たちの自殺は、極めて深刻な状況にあります。そして、特に長期休業明けの前後には、子供の自殺者数が増加する傾向にあります。

子供たちの自殺を未然に防ぐには、保護者や学校関係者をはじめ、子供たちと身近に接しているみなさまに、子供たちの態度に現れる微妙なサインに注意を払っていただくことが、大変重要だと考えております。

- ・これまで関心のあった事柄に対して興味を失う
- ・成績が急に落ちる
- ・物事に集中できなくなる
- ・身だしなみを気にしなくなる
- ・健康管理や自己管理がおろそかになる
- ・不眠、食欲不振、体重減少などのさまざまな身体の不調を訴える
- ・友人との交際をやめて、引きこもりがちになる

といったようなサインが見られたら、いつも以上に子供に寄り添い、注意深く見守って、子供の思いを受け止めていただきたく存じます。

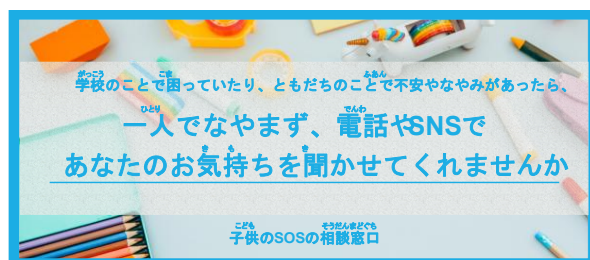
一人一人の働きかけが、悩みや不安を和らげるとともに、日頃の温かいコミュニケーションによって、何か困ったときに相談できる子供たちとの信頼関係づくりにつながります。各種相談窓口もありますので、ご活用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

そして、学校関係者のみなさまにおかれましては、不安や悩みを抱える子供たちが孤立することのないよう、学校、家庭、地域、福祉部局、警察、医療機関などの関係機関で緊密に連携し、地域全体で支援していただきますようお願いいたします。

文部科学大臣としても、子供たちが安心して学ぶことができるよう、皆様と共に、取り組んでまいります。

電話やメール、ネット等の相談窓口

(リンク先には学校や警察、児童相談所等の相談窓口一覧もあります。)



https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

令和8年8月

文部科学大臣 松本 洋平